

1. 活動テーマ

【テーマ】

水に触って、遊んでみよう！

【テーマの設定理由】

夏の暑さの中、水の心地よさや感触を味わって欲しい。

2. 活動スケジュール

- ① ウォーターバッグ（温水を入れたジップロック）を触る。
- ② バッグの中の水をたらいに入れ、水を触る。
- ③ 手や足などで自由に触り、たらいに入ったりして全身で触れる。
- ④ シャワーやジョウロから出る水を触る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

たらい、ジップロック、シャワー付きホース、ジョウロ、着替えなど

保育士が常に側につき危険のないように見守る。

子どもの様子に合わせて水の量を調節する。

4. 探求活動の実践

【活動内容】

ジップロックに温水を入れてウォーターバックを作り、たらいの中で触って遊ぶ。冷たさや感触を十分に味わってからジップロックから水をたらいの中に出し、水を直に触れられるようにした。水の心地よさに気が付くとどんどん積極的になり、カップやジョウロなどを使って上から流したり、他に移し替えたりして遊んだ。手先だけでなく全身で水の冷たさや感触を味わおうとするようになった。次第に自らたらいに入り全身で感触を楽しんでいたりと、慎重に手だけ入れて自分のペースで水に慣れ親しんでいったりする様子が見られた。保育士に水をかけられると喜んで笑う姿もあった。遊びを終わりにしようとするとう「もっと遊びたい！」というように部屋に戻るのを嫌がる様子も見られた。

【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり】

保育士が触り、子どもたちも指先から手のひらで触り始める。ウォーターバッグのぷよぷよした感触に気づくと、ペチペチとたたいたり、指先でもんだりして感触を楽しんでいるようだった。

手だけでなくたらいに入って足で触ったり、持ち上げてみたりして全身で感触を味わっている様子。



ジップロックから水が出た途端に控えめに遊んでいる子どももはしゃぎ始め、両手を入れて水の感触に喜んでいた。

場所をテラスに変え、ジップロックの中の水をたらいの中に入れて戸惑いもなくたらいに手を入れる。笑顔を保育士に向けて楽しさや心地よさを伝えてくれているようだった。



どんどん積極的になり、カップやジョウロなどのおもちゃを使って水を汲んだり、上から流したりして遊び始める。



自らたらいの中に入り、全身で水の感触を楽しんでいる。保育士からシャワーで水をかけられると嬉しそうに手を伸ばし、水に触れようとする姿がたくさん見られた。



5. 振り返り

【振り返りによって得た先生の気づき】

前回のパン粉同様、最初は「これはなんだろう？」という様子から始まり、保育士が触って見せることで子どもたちも触ろうとする姿が見られた。水遊びの導入としてウォーターバックを作ったことで濡れるよりも前に水の冷たさも味わえたと思う。ウォーターバックの感触に喜び遊んでいくうちに水が漏れ出たことで子どもたちは更に喜んだ様子を見て、普段あまり触れられない水に突然触れた驚きが混ざり、はしゃいでいたように思う。

慎重な子どもは一日では水に慣れず、少し触ってやめてしまっていたが、他の子どもたちが喜んで触っているのを見て徐々に興味を持ち始めたようだった。最後にはどの子どもも全身で水遊びを楽しんでいた。保育士がシャワーで水をかけることにも喜び、自分から手を出して積極的に触ろうとする仕草から家の風呂でも楽しく入っていることがうかがえた。家での経験と保育園での経験が重なり、より「楽しい！」と思えた活動であったと思う。